

いわき市連携「未来を支える産業人材育成事業」 ～浜通りに届ける復興の風プロジェクト～

採択大学等名

東京大学

(共同申請校) 福島工業高等専門学校

連携市町村名

いわき市

取組概要

原発事故以降、「福島イノベーション・コースト構想」「福島新エネ社会構想」、さらに「2050年カーボンニュートラル宣言」及びそれに伴う「グリーン成長戦略」が策定され、再生可能エネルギーを取り巻く環境は、国内、福島県内において大きな過渡期を迎えており、いわき市でも風力産業政策を進めている。本事業では、東大先端研と福島高専が一体となり、いわき市が目指す風力発電をはじめとした再生可能エネルギーによる新産業創出に向けた取組みと連動させながら、以下の3つの柱に取り組んでいる。

◆復興・カーボンニュートラル社会を支える人材の育成： 初等教育から高等教育まで長期展望での教育活動を実施。

◆新たな労働環境の形成： 人口減少時代に社会を支える人材登用の新たな形を形成。「働くこと」の多様性を確保。

◆浜通り地域への交流人口の拡大 浜通り地域での活動活性化に向けて様々な取組みを連携・連動。

これにより、イノベ構想の実現や持続可能な社会の構築に貢献するとともに、「第2期復興・創生期間」の終期を見据え、いわき市内から浜通り地域全体へと取組みを拡大することで、復興知事業でのこれまでの取組みが地域の自立した政策となることを目指す。



2025年7月
東大先端研・福島高専連携協定締結
同 記念シンポジウム開催
復興庁・文科省・経産省からも激励をいただく



2024年6月
復興庁・東大先端研 福島復興リビングラボ連携

これまでの成果

これまでの活動を通じて、地域全体の風力産業に対する意識・機運が醸成。いわき市発・全国初となる「いわき市風力発電メンテナンス人材認証制度」の構築へ。あらゆる世代への人材育成の取組みを通じて、市内学生の再エネに関する興味・関心が高まり、復興知事業に関わった学生が、市内の再エネ関連企業に就職。

地元教育機関や産業界と連携しながら、短期、中期、長期的な視点でこれまで人材育成に取り組んできたことにより、将来の風力産業やカーボンニュートラルを支える人材を継続的に輩出することが可能となる仕組みづくりを実現。

今後の展開

「第2期復興・創生期間」の終期を見据え、復興知事業によって培われた知見が復興政策の糧となることを目指してきた。令和6年度には復興庁と連携協定を締結し、地域課題の解決に取り組む「リビングラボ」を連携。これまでの復興知事業の成果やノウハウを、浜通り地域全体へと展開していくための仕掛けづくりを実施中。

令和7年度は、東大先端研と福島高専が、これまでの活動を通じて構築してきた学術機関や地域の産業界とのネットワークをより強めることで、更なる地域の人材育成・産業育成に取り組んでおり、今後浜通り関係機関とも連携し、更なる復興の形を考えていく。